

社是

1 顧客第一の信念に徹し、社業を通じて社会の進歩に貢献する

2 誠実を旨とし、和を重んじて公私の別を明らかにする

3 世界的視野に立ち、経営の革新と技術の開発に努める

社是制定主旨

当社の発祥は遠く明治3年(1870年)に遡るが、当社の今日あるのは偏^{ひと}えに創業者岩崎彌太郎を始め歴代の経営者、従業員のたゆまぬ努力の所産である。これら諸先人の残された数々の教訓は今なお我々の脳裡に刻まれているが、今これらの先訓を思い起こし、当社の将来への一層の飛躍に備え、伝統ある当社にふさわしい社是を制定せんとするものである。

このたびの社是の文言は直接には第四代社長岩崎小彌太の三綱領—所期奉公、処事光明、立業貿易—の発想に基づくものであるが、さらにこれを会社の基本的態度、従業員のあるべき心構えそしてまた将来会社の指向すべき方向をこの三つの観点から簡明に表現したものである。

時あたかも三菱創業百年を迎え、激動する70年代の幕明けに際し、当社は時勢^{ゆえん}に応じ、絶えず新しい意欲をもって前進したいと思う。ここに新たな感覚を盛込んだ社是を制定する所以である。

(昭和45年6月1日)